

# 新翻訳事業

## Standard 標準となる日本語訳聖書を求めて



2012年夏に開かれた全体会議。翻訳者と教会の代表者が集まった。

日本聖書協会が2010年に新しい翻訳事業を開始して3年余り経ちました。同年発行のソア35号で本事業開始にいたる経緯や概略についてご説明しましたが、今号では、本事業の特徴と翻訳作業上の困難な側面をお伝えします。新しい日本語聖書をご理解いただくとともに、ぜひご期待ください。——編集部

### 新翻訳事業の特徴

このたびの翻訳事業には「新しい」という言葉がついているので、『新共同訳』とはまったく違う新しい翻訳なのだ、という印象を与えています。しかし実際は、『口語訳』や『新共同訳』を中心に、過去の翻訳の労苦や業績の上に立った翻訳であり、ゼロから訳す翻訳ではなく、その集大成とも言えるものです。では、今回の翻訳事業は過去の邦訳聖書、特に『新共同訳』とはどこが違うのでしょうか。

『新共同訳』は、日本語としての自然さと分かりやすさを目指しました。この点ではたいへんすぐれた翻訳で、専門家からも良い評価を受けています。しかし、その反面、「冗長な箇所が多いので、リズムのある文章、教会での朗読にふさわしい、格調ある美しい文章にしてほしい」という要望が多いのも事実です。そこで、『新共同訳』の良さを保ちながら、よりしまった、より美しい邦訳聖書を生み出したいというのが、今回の事業の最大の特徴と言えます。その目標を達成するために、いくつか新しい方法をとっています。

#### ①原語担当者と日本語担当者の二人三脚

今までは、聖書原語を理解する方々を中心に翻訳がなされ、それを最終的に日本語の専門家

がチェックするという方法がとられてきました。しかし、今回の事業では、原語担当者と日本語担当者が最初から二人三脚で翻訳を行います。原語担当者は原典の意味を明らかにし、日本語担当者はそれをより良い日本語にするのです。この方式は、二〇〇四年に刊行されて成功を収めた最新のオランダ語聖書から学んだものです。

## ②朗読チェック

ある程度、稿が進んだ段階で、それまでまったく本文に触れていない二人の方に朗読チェックをお願いします。一人が朗読し、もう一人がそれを聞いて、同音異義語、分かりにくい単語、句読点の位置など、気がついた点を指摘し、それを翻訳にフィードバックします。こうすることによって、典礼での朗読にふさわしい聖書にするという目標により近づきます。



ます。

文章が冗長になるとしても分かりやすくするか、分かりにくくても短くするかという問題もあります。『新共同訳』の一部では、分かりやすさを目指したために説明的になり、単語が長くなる傾向がありました。こういうことは極力やめるといのが今回の方針です。

たとえば、詩編一編一節の「ラシヤー」というヘブライ語は、『新共同訳』では「神に逆らう者」と訳されましたが、今回は「悪者」あるいは「悪しき者」となる予定です。

詩編五編九節を見てください。

### 〔『新共同訳』〕

主よ、恵みの御業のうちにわたしを導きまっすぐにあなたの道を歩ませてください。

### (新翻訳第三稿)

義をもって、わたしを導いてください。わたしの前に、あなたの道をまっすぐにしてください。

『新共同訳』では「ツェダカー」というヘブライ語は「恵みの御業」と訳されました。分かりやすくするため、説明的になっていきます。しかし今回は、「口語訳」のように「義」あるいは「正義」と訳す予定です。また、『新共同訳』の「まっ



2013年夏合宿での第三稿の話し合い

## ③本文注

自然で美しい日本語を目指すと、直訳から離れる場面も生じます。そのため、本事業においては、脚注に直訳などを記すようにしました。

## ④モニター制度

翻訳が出来上がると、書の単位で印刷して、モニターの方々に読んでいただき、翻訳文の評価をしていただきます。その評価を検討し、最終的に本文を決定します。

以上のような方法で、原典に忠実でありながら、より良い日本語の聖書を生み出そうとして

すぐにあなたの道を歩ませてください」は意識です。直訳すると新翻訳のようになります。

箴言一章一八節はどうでしょうか。

### 〔『新共同訳』〕

待ち伏せて流すのは自分の血。隠れて待っても、落とすのは自分の命。

### 〔口語訳〕

彼らは自分の血を待ち伏せし、自分の命を伏してねらうのだ。

『口語訳』は直訳のため意味が分かりにくいですが、『新共同訳』はすっきりと意味が分かり、リズムもあります。日本語としては『新共同訳』のほうが良いのですが、それではかなりの意識となります。新翻訳ではどうしたらよいか、今後の課題です。

このように、聖書の翻訳においては、原典に忠実であるということと、自然で美しい日本語にするという二つの相反する求めを何とか一つにする点に大きな困難があると言えます。

皆さんは、先ほどの具体例をどう思われますか。

## 最後に

今回の翻訳事業では、十分な時間をかけて一

います。

## 翻訳作業の難しい点

本事業に関心を持っていただいている方々から、聖書を翻訳していく上で難しい点を尋ねられます。

翻訳作業の困難な点の一つは、原典に形式的に近いものか、日本語として自然なものかという綱引があります。

一つの例を挙げますと、原語の語順に近づけるのか、日本語の自然な語順にするのかという点です。たとえば、『新共同訳』イザヤ書四〇章二節は、第一稿では次のようにヘブライ語の語順のままでした。

語りかけよ、エルサレムの心に

これが最終稿では次のように直っています。

エルサレムの心に語りかけ……よ

また、代名詞を訳出するか、極力省くかという点もあります。ヘブライ語やギリシア語の原文では「彼は」「彼らは」「あなたがたは」が頻出します。原語担当者は、原文にあるので代名詞を残したい。しかし日本語担当者は、それは不自然なので省きたい。そういう綱引きがあり

つ一つの文言を熟成させ、神の言葉が、それを聞く一人一人の心に迫るような聖書翻訳をしたかと思っっています。また、明治時代の『文語訳』のように、将来の日本語をリードするような聖書を出したいという願いもあります。拙速な翻訳では、教会にも社会にも受け入れられないでしょう。

しかし同時に、あまり時間をかけると、事業自体が立ち行かなくなり、出版にまで至りません。翻訳者が翻訳し、委員会で検討すべき文言は三万七〇〇節（二三六五章）にも及び、翻訳と会議には多額の費用がかかるからです。

まさしく、この事業を実現するには、神ご自身のお働きを求める祈りが不可欠です。『新共同訳』を牽引していったシユナイダー神父は、聖書翻訳は神のわざであると語って背後の祈りを要請し、意見が対立する会議では、途中の休み時間に祈る方でした。今回の事業でも皆様のご理解とお祈りを願うものです。



新翻訳（作業中）と、既存の訳文との比較

表内の聖書本文中の「や」「に対する」については考慮していません ※新翻訳は、さらに変更する可能性があります

旧約の例 ハバクク書第1章12～13節				
節	文語訳	口語訳	新共同訳	新翻訳・第五稿*
12	エホバわが神わが聖者よ 汝は永遠より在らずに非ずや 我らは死なじ エホバよ汝は是を審判のために設け給へり 誓よ汝は是を懲戒のために立て給へり	わが神、主、わが聖者よ。 あなたは永遠からいますかたではありませんか。 わたしたちは死んではない。 主よ、あなたは彼らをさばきのために備えられた。 岩よ、あなたは彼らを懲らしめるために立てられた。	主よ、あなたは永遠の昔からわが神、わが聖なる方ではありませんか。 我々は死ぬことはありません。 主よ、あなたは我々を裁くために彼らを備えられた。 岩なる神よ、あなたは我々を懲らしめるために彼らを立てられた。	主よ、あなたは永遠の昔からわたしの神、わたしの聖なる方、不死のお方ではありませんか。 主よ、あなたは我々を裁くために彼らを定められた。 巖なる方よ、あなたはわたしたちを罰するために彼らを立てられた。
13	汝は目清くして肯て悪を觀給はざる者 肯て不義を視給はざる者なるに何ゆゑ邪曲の者を觀ずて置き給ふや 悪しき者の己にまさりて義き者を呑み込みに何ゆゑ黙然し居給ふや	あなたは目が清く、悪を見られない者、また不義を見られない者であるのに、何ゆゑ不真実な者に目をとめていられるのですか。 悪しき者が自分よりも正しい者を、のみ食らうのに、何ゆゑ黙っていられるのですか。	あなたの目は悪を見るにはあまりに清い。 人の労苦に目を留めながら捨てて置かれることはない。 それなのになぜ、欺く者に目を留めながら黙っておられるのですか 神に逆らう者が、自分より正しい者を呑み込んでいるのに。	あなたの目は悪を見るには清らかで 労苦を見るに忍びない。 裏切り者に目を留めながら 悪しき者が義しい者を呑み込んでいるのに なぜ黙っておられるのですか。
新約の例 ヨハネの黙示録第2章18～19節				
節	文語訳	口語訳	新共同訳	新翻訳・第五稿*
18	テアテラに在る教会の使に書きおくれ。 「目は焰のごとく、足は輝ける真鍮の如くなる神の子かく言ふ、	テアテラにある教会の御使に、こう書きおくりなさい。 『燃える炎のような目と光り輝くしんちゅうのような足とを持った神の子が、次のように言われる。』	ティアテラにある教会の天使にこう書き送れ。 『目は燃え盛る炎のようで、足はしんちゅうのように輝いている神の子が、次のように言われる。』	ティアテラにある教会の使いに、こう書き送れ。 『燃え上がる炎のような目と、燃えている炉から注ぎ出される青銅のような足を持つ神の子が、次のように言われる。』
19	われ汝の行為および汝の愛と信仰と職と忍耐とを知る、又なんぢの初の行為よりは後の行為の多きことを知る。	わたしは、あなたのわざと、あなたの愛と信仰と奉仕と忍耐とを知っている。また、あなたの後のわざが、初めのよりもまざっていることを知っている。	「わたしは、あなたの行い、愛、信仰、奉仕、忍耐を知っている。更に、あなたの近ごろの行いが、最初のころの行いにまざっていることも知っている。	「わたしは、あなたの行いと愛と信仰と奉仕と忍耐を知っている。また、あなたの近ごろの行いが以前の行いにまざっていることも知っている。

翻訳事業ソフト“パラテキスト”の画面

原語と進行中の新翻訳の訳文、さらに既存の各国語、また、邦訳聖書を画面に並べることができま。さらにSkypeを利用して、遠方の翻訳者と検討しながら翻訳を進めることが可能。



文語訳聖書（1887年～〔新約は1917年改訳〕）



口語訳聖書（1955年～）



聖書 新共同訳（1987年～）  
写真はこれまでで最も薄い22g/m<sup>2</sup>薄葉紙に印刷された最新シリーズ  
（ポケットバイブル：A7判、ハーフボリュームバイブル：B6判）

翻訳作業プロセス

翻訳者委員会  
担当チーム2名、翻訳者兼編集委員2名、その他。

専門分野からの助言  
専門アドバイザー  
考古学、社会学、ユダヤ学などの専門家数名。

編集委員会  
翻訳者、聖書学者、教義学者、日本語担当、典拠・女性の専門家、事務局員。

